

障害者等用駐車区画について 動画でわかりやすくご紹介しています



<https://kokoro.metro.tokyo.lg.jp/>

 心のバリアフリー

ハートとハードで、バリアをなくそう！

都では、年齢、性別、国籍等に関わらず、全ての人が安心、安全、快適に暮らし、訪れる
ことができるユニバーサルデザインのまちづくりを推進しています。誰もが円滑に移動し、
さまざまな活動を楽しめるまちづくりを進めるには、施設のバリアフリー化とともに、全ての
人が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続ける「心のバリア
フリー」が重要になります。




<https://kokoro.metro.tokyo.lg.jp/>

ホームページでは「心のバリアフリー」に関するさまざまな情報を発信しています。
小学生・中学生向けのコンテンツや、動画コンテンツで、わかりやすく知ることができます。
ぜひご覧ください。

この駐車場を 必要としている人 がいます。



入り口に近いから、という理由で 使ってしまっていませんか？

「障害者等用駐車区画」は、車椅子使用者、高齢者、妊婦など、
車の乗り降りや移動の際に配慮が必要な方の専用スペースです。

本当に必要な人のために、たとえ短時間であっても停めないようにしましょう。
皆さまのご理解とご協力をお願いします。



車椅子使用者用駐車施設とは

公共施設や店舗などの駐車場で、車椅子を使用している人など、車の乗り降りや移動に際して配慮が必要な人のために設けられた駐車区画のことです。



主な特徴



出入口に近い

- 車椅子を使用している人でも乗り降りしやすいよう、幅が広い(3.5m以上)
- 建物の出入口やエレベーターホールなどに近い
- 障害者のための「国際シンボルマーク」を表示

車椅子を使用している人などは、乗降するために広いスペースが必要であるため、この駐車区画を利用しています。
通常の区画では利用できることに十分配慮する必要があります。



シンボルマークを表示した区画



車椅子で乗降する様子



障害者のための
国際シンボルマーク
障害者が利用できる建物、
施設であることを明確に表す
ための世界共通のシンボル
マークです。

こんな困りごとがあります



幅の広い区画がないと
駐車しても乗り降りができない



一般車が停まっていて
そもそも駐車できない

この駐車区画は、必要な人のために空けておきましょう

優先駐車区画とは

幅の広い区画は必要ないものの、歩行が困難、
移動の際に配慮が必要な方が優先的に利用できる
駐車区画です。



主な特徴



出入口に近い
可能な限り

- 「車椅子使用者用駐車施設」よりも幅が狭い(2.5~3.0m程度)
- 建物の出入口やエレベーターホールなどに可能限り近い

この区画は、歩行困難な障害者や高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方、けがをした方などが利用できます。優先駐車区画には、利用対象者の説明や、対象者を表すマークが看板に表示されたり、床面に対象者を表すシンボルマークが塗装されています。また、優先駐車区画であることを示すカラーコーンカバーを使用していることもあります。



優先駐車区画の例



優先駐車区画を示すカラーコーンカバーの
印刷データは心のバリアフリーホームページ
で配布しています



[https://kokoro.metro.tokyo.lg.jp/
barrierfree/guideline-park.html](https://kokoro.metro.tokyo.lg.jp/barrierfree/guideline-park.html)

優先駐車区画の拡充にご協力ください

POINT!

- ☑ 「車椅子使用者用駐車施設」や「優先駐車区画」それについて、真に必要な方の利用を優先するような行動が大切です。
- ☑ この区画は誰のためにあるのか、誰がこの区画を利用したいのか、をひとりひとりが想像し、行動することが大切です。
- ☑ 誰もが車移動に制限なく、円滑に駐車場が利用できる社会を、みんなで一緒に作っていきましょう。

